

# 創業計画書（事業計画書）

〔記入例〕

お名前

作成年月日：平成 年 月 日

- ・この書類は、ご面談にかかる時間を短縮させるために活用させていただきます。お手数ですが、ご協力のほどお願いいたします。
- ・なお、本書類はお返しできませんので、ご了承ください。
- ・この書類に代えて、お客様ご自身が作成された計画書を提出いただいても結構です。

## 1 創業の動機・事業の経験等

(1) 今回創業予定の業種	洋風居酒屋		(2) 創業(予定)時期	平成 年 月
(3) 創業されるのは、どのような目的、動機からですか？	・これまでの経験を生かし、自分の店を持ちたいと思い、〇〇地区で物件を探していたところ、 <b>立地も広さもちょうど良いテナントが見つかった。</b> ・現勤務先の仕入業者から、多品種の酒を安く仕入れできるようになり、 <b>事業の見通しが立ったため。</b>			
(4) 過去にご自分で事業を営んでいたことはありますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を営んでいたことはない。 <input type="checkbox"/> 事業を営んでいたことがあり、現在もその事業を続けている。 <input type="checkbox"/> 事業を営んでいたことがあるが、その事業をやめている。⇒やめた時期 年 月頃			
(5) 本事業の経験はありますか。(お勤め先、勤務年数など創業に至るまでのご経歴)	お勤めの期間	お勤め先(業種等)		
	〇年〇月～〇年〇月	居酒屋〇〇3年勤務(学生時代のアルバイト先に、そのまま勤務)		
	〇年〇月～〇年〇月	ダイニングキッチン〇〇(洋風居酒屋チェーン)9年勤務 3年前から店長(現在の月給〇万円)		
	〇年〇月～〇年〇月	退職予定(退職金〇万円)		
(6) 取得されている資格等	(有) (調理師免許( 〇年〇月取得 )) ・特になし			

## 2 取扱商品・サービス

(1) お取り扱いの商品、サービスを具体的にお書きください。	① 昼 日替わりランチ(4種類/ドリンク・デザート付) 900円 (売上シェア 18%)
	② 夜 一品料理 350円~1,000円(旬の素材を利用した創作料理) (売上シェア 82%) ドリンク 400円~1,000円
	③ 客単価 昼900円、夜3500円
(2) セールスポイントは何ですか。	・ワイン、ビール、オリジナルカクテル等200種類のドリンクを提供する。 ・隠れ家的な雰囲気のある店構えにする。(月1回、友人の協力でアコースティックギターの生演奏会を予定している。)

## 3 取引先・取引条件

	取引先名(所在地)	シェア	掛取引の割合	回収・支払の条件		取引先名(所在地)	シェア	掛取引の割合	回収・支払の条件
販売先	① 一般個人(〇〇地区周辺の会社員、学生)	%	%	即日 日回収	仕入先	① △△酒店(株)(〇〇市)(現勤務先の仕入先)	50%	100%	末日 日支払
	② ( )	%	%	日回収		② (株)××食品(〇〇市)(現勤務先の仕入先)	50%	100%	末日 日支払
	③ ( )	%	%	日回収		③ ( )	%	%	日支払
	④ ( )	%	%	日回収		④ ( )	%	%	日支払
外注先	① ( )	%	%	日支払					
	② ( )	%	%	日支払					

従業員等	常勤役員の人数(法人の方のみ)	人	人件費支払	給与	ボーナス
	従業員数(うち家族従業員)	2人(1人)		末日	支給月
	パート・アルバイト	4人		翌末日支払	

4 今回事業に必要な資金と調達の方法

今回事業に必要な資金の内訳		金額(千円)	必要資金の調達の内訳		金額(千円)
設備資金 (見積書等添付必要)	店舗、機械、車、備品、家賃(敷金のみ)等が対象です。		自己資金(1)		3,000 千円
		9,700 千円	親、兄弟、知人、友人等からの借入(2)		2,000 千円
	(内訳)		借入先	返済方法	
	・店舗内外装工事(〇〇社見積のとおり)	5,000 千円	父	元金2万円×100回(無利息)	
	・厨房機器	2,000 千円			
	・什器・備品類	1,500 千円			
	・保証金	1,200 千円	沖縄公庫からの借入(3)		7,000 千円
			元金100千円×70回(年〇.〇%)		
	設備資金の小計(1)	9,700 千円	他の金融機関等からの借入(4)		
運転資金	商品仕入、家賃、人件費等が対象です。	2,300 千円	借入先	返済方法	
	(内訳)				
	・仕入	900 千円			
	・広告費等諸経費支払	1,400 千円			
	運転資金の小計(2)	2,300 千円	調達額の合計(5) = (1)+(2)+(3)+(4)		12,000 千円
	必要額の合計(3) = (1)+(2)	12,000 千円			

合致します

単位：千円

5 事業の見通し(月平均)

	創業当初	軌道に乗った頃 (年 月頃)	売上高、売上原価、営業費を計算した根拠を記入ください。
(1) 売上高	2,560 千円	3,320 千円	<創業当初> ①売上高(日曜定休) 昼(月~土) 900円×25席×0.8回転×26日=460千円 夜(月~土) 3,500円×25席×0.8回転×18日=1260千円 (金、土) 3,500円×25席×1.2回転×8日=840千円
(2) 売上原価(仕入高)	900 千円	1,170 千円	②原価率 35%(勤務時の経験から)
(3) 売上総利益 (3) = (1) - (2)	1,660 千円	2,150 千円	
(4) 営業費			③人件費 従業員1人200千円 専従者1人(妻) 100千円 アルバイト4人(1日延べ14時間) 時給800円×14時間/日×26日=300千円 家賃 200千円 支払利息 7000千円×年〇.〇%÷12ヵ月=20千円 その他光熱費、宣伝広告費等 500千円
① 人件費	600 千円	780 千円	
② 地代家賃	200 千円	200 千円	
③ 支払利息	20 千円	20 千円	
④ その他経費	500 千円	600 千円	
合計	1,320 千円	1,600 千円	<起動に乗った後> ①創業時の1.3倍(勤務時の経験から) ②当初の原価率を採用 ③人件費 従業員1人増 180千円増 その他諸経費100千円増
(5) 差引利益 (5) = (3) - (4)	340 千円	550 千円	← 事業主(会社組織の代表者等除く)の人件費と借入金の返済元金はここから支払われます。

人件費は、従業員数もわかるようにしてください。

支払利息(月間)は、  
「借入金×年利率÷12ヵ月」

※ 他に参考となる資料がありましたら、計画書に添えてご提出ください。